

# 多摩支部会報-第8号

第13回総会特集号

平成28年7月23日 発行

明治大学校友会  
東京都多摩支部

支部長 西山 強

広報委 飯田光宏



明治大学校友会東京都多摩支部第13回定時総会等が、吉田悦志副学長・北野 大  
校友会副会長等のご臨席を頂き、240名を超える校友の出席のもと盛大に開催さ  
れました。

日 時 2016年(平成28年)7月10日 (日) 13時～  
場 所 立川グランドホテル

## 行 事 内 容

公開講演会・・・阿久 悠と美空ひばり 宿命のライバル  
講師・・・吉田悦志 副学長 (国際日本学部教授)

総 会—事業報告、決算、事業計画、予算—議案は掲載していません

懇親会—アトラクション—明治大学BSSO



# 明治大学校友会 東京都多摩支部第13回定時総会 次第

日時：2016年（平成28年）7月10日（日） 於：立川グランドホテル（カルロ・スカーラホール）

## 第一部 公開講演会

司 会 村山秀樹（小金井地域支部）  
松村彰子（小金井地域支部）

13:00～ 演 題 「阿久 悠と美空ひばり 宿命のライバル」  
講 師 吉田 悦志氏 明治大学副学長（国際日本学部教授）

## 第二部 総 会

司 会 村山秀樹 松村彰子

14:30～ 黙 禱

- |                        |      |             |
|------------------------|------|-------------|
| 1 開会のことば               | 高玉茂男 | 第13回総会実行委員長 |
| 2 支部長挨拶                | 西山 強 | 支部長         |
| 3 来賓紹介                 |      |             |
| 4 来賓代表挨拶               | 吉田悦志 | 明治大学副学長     |
| 〃                      | 北野 大 | 校友会副会長      |
| 5 多摩支部三役・地域支部長紹介       |      |             |
| 6 議 長 選 出              |      |             |
| 7 議事録署名人選出             |      |             |
| 8 議 事                  | 議 長  |             |
| 第1号議案 2015年度事業報告承認の件   | 柳澤正長 | 幹事長         |
| 第2号議案 2015年度収支決算報告承認の件 | 伊藤則義 | 財務幹事        |
| 2015年度監査報告             | 齋藤眞吾 | 監査委員        |
| 第3号議案 2016年度事業計画案承認の件  | 柳澤正長 | 幹事長         |
| 第4号議案 2016年度収支予算案承認の件  | 佐藤 剛 | 財務幹事        |
| 9 校友顕彰（被顕彰者 顧問 岩崎岩夫）   | 北野 大 | 校友会副会長      |
| 10 閉会のことば              | 義江邦夫 | 東久留米地域支部長   |

## 第三部 懇 親 会

司 会 内川晃一（小金井地域支部）  
高玉康子（三鷹地域支部）

- |        |                   |             |           |
|--------|-------------------|-------------|-----------|
| 16:00～ | 1 開会のことば          | 小野寺孝成       | 小金井地域支部長  |
|        | 2 来賓祝辞 東京都4支部代表   | 坂井道男        | 南部支部長     |
|        | 3 第132回明大祭実行委員会より | 明大祭実行委員会    |           |
|        | 4 乾 杯             | 安田 暉        | 相談役（前支部長） |
|        | 5 歓 談             |             |           |
|        | ビッグバンド・ジャズ演奏      | 明治大学B S S O |           |
|        | 6 応援歌&校歌斉唱        | 三森 勲        | 北部支部幹事長   |
|        | 7 万歳三唱 明治大学万歳     | 西山 強        | 支部長       |
|        | 多摩支部万歳            | 吉田悦志        | 明治大学副学長   |
| 18:00  | 8 閉会のことば          | 新井宏宣        | 稲城地域支部長   |



西山 強（36年工 国分寺）  
撮影・浅見氏・・・・・・・・

### 西山 強支部長挨拶概要

本日は、ご多忙なところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。吉田副学長、北野校友会副会長はじめ東西南北の支部長・幹事長のご臨席のもとに総会を開催できますこと誇りとするところでございます。

先ほどの講演会では、阿久 悠が同い年である美空ひばりに対して抱いていた尊敬・畏怖・意地・野心等宿命のライバルとの秘話を興味深く拝聴し、思わず耳をそばだてました、ありがとうございました。

地域支部から誕生した我が多摩支部は、今では21地域支部を擁する全国最大の支部の一つに発展しました。今日、顕彰される岩崎顧問はじめ当該地域校友の母校愛の賜物と感謝申し上げます。設立から10数年経過し、現在、多摩支部は面的拡大から質的向上へとその軸足を置き換えております。地域支部総会や多摩支部会報でご案内申し上げてはおりますが、せっかくの機会ですので、多摩支部の今後の目標等につ

いて改めて申し上げたいと思います。

- ① 各地域支部の「其々の質」を高め、近隣 地域支部との事業の共催等により「大きな輪」となっていくことであります。
- ② 特に女性を含めた若い世代の入会促進と活用。
- ③ IT技術の活用による情報の共有とスピード化。
- ④ 第93回箱根駅伝予選会応援（10月15日[土]）。
- ⑤ 全国校友鳥取大会への参加

以上、いくつか申し上げましたが、できるところから実行していくことが基本だと思います。既に実施しております野球やラグビー等の応援、ディスクゴルフ大会への参加、餅つき大会や施設見学会等への参加地域支部の拡大等から始めていきたく存じます。

さて、本日は年に一度の総会であり、十分に時間をとり、ご審議ただくのが筋かとは思いますが、公開講演会を開催し、懇親会も予定しており、時間が押しております。そのあたりを、どうぞご理解ご協力をお願いいたしまして、ご挨拶といたします。



### 吉田悦志副学長ご祝辞概要

先程は、私のお話をお聞きいただきありがとうございました。講演をお引き受けした時はまさかこういう立場での挨拶は全く予想しておりませんでした。

昭和46年明治大学文学部卒の吉田悦志でございます。現在、土屋学長のもとでキャンパス整備担当の副学長を務めさせていただいております。

本日は校友会でも最も大きな支部の総会にお招きいただきありがとうございます。

明治大学は、今、クオリティとブランド力を高める努力を続けております。

明治大学は1881年に明治法律学校として創立。創立に主に関わった方は岸本辰雄先生はじめ3名。創立1年後には早くも校友規則が作成されています。

54万人の校友、校友会組織は盤石であります。

大学の近況について3点お話いたします。国際化事業、新しい研究分野、一般入試の3点です。

①文部科学省のスーパーグローバル研究に手を挙げ、「世界へ、明治8000」のキャッチフレーズで海外へ学生を送り出す(留学)4000名、外国から学生受け入れ4000名、合わせて8000名を目指します。

2015年の実績では、出が1254名、入りが1252名です。

### ②先端研究

2007年にスタートした先端数理学、中野キャンパスが中心です。

2011年からバイオリソース研究。次世代の医療技術開発。

2015年、山中教授でご存知のIPS細胞の研究シンポジウムの開催

2013年～2015年ガス・ハイドレード研究。上越などでの調査を実施。

### ③一般入試の結果

今春の入試は10万8500人の志願者。10年連続で10万人超え。

リクルートによる関東地区の高校生の「志願したい大学」アンケートでは、男子、女子、理系、文系、すべてで明治大学はトップです。

また、最新の東洋経済の調査、「進学校の教師が選ぶ勧めたい大学」調査では

1位 明治 2位早稲田 3位慶応義塾 4位立教 5位青山学院です。

明治大学が人気がある理由は、

①教育改革の成果が目に見えること。とくに入試制度(分かりやすいこと、利便性)

②卒業生が社会から高い評価を受けていること

多摩支部の皆様のご支援に感謝申し上げ、ご挨拶といたします。(記 小川紳夫)



### 北野 大 校友会副会長ご祝辞概要

お招きいただきありがとうございます。  
ずらりと並んだ地域支部旗を見ると実に壮観であります  
今日は時間も押しているようなので、ご挨拶は割愛します。

一言だけ、「校友会」は何をやる  
それは「きょういく」と「きょうよう」であります。  
「きょういく」とは、「今日、行く所がある」ことであり  
「きょうよう」とは「今日、用がある」と言うことであります。

本日は誠におめでとうございます。

(記 飯田光宏)

## お帰りなさい、母校へ！

# ホームカミングデー 10月23日(日)

紫紺ネット会員募集中(登録料なし、学校情報等無料配信)  
紫紺ネット⇒検索 <http://meiji-shikon.net/>

# 公開講演会 阿久 悠と美空ひばり 宿命のライバル



撮影 浅見氏

## 阿久 悠

1937年2月7日

放送作家、詩人、作詞家、小説家。本名、深田 公之（ふかだ ひろゆき）。1959年文学部



## 吉田悦志

1971年 明治大学文学部卒業

1980年 明治大学政治経済学部兼任講師

1990年 同教授

2006年 国際日本学部教授、副学長（社会連

講師自己紹介後、突然会場が暗くなり「悲しい酒」を涙ながらに歌う「美空ひばり」の映像が流れ、聴衆は思わず引き込まれて入った。

1937年12月5日、大都会横浜生まれの「ひばり」は、12歳で歌謡界にデビュー。かたや同年2月、淡路島鮎原村生まれの「阿久 悠」は父親（警察官）の勤務先の都合で、島内を転々とし、故郷のない浮草のようだ思っていた。（生誕の地には歌碑など何もない）

野球少年「阿久」は、「ひばり」のデビューは別格であり脅威の存在を認識した。

「阿久 悠」にとって、「美空ひばり」は「歌手」と「作詞家」の関係ではなく、自分の「上」にあり、尊敬・畏怖・劣等感等々の対象であり続けた。が、「ひばり」の歌う唄は「控えめで、後ずさり、そっと後ろ姿で泣く、自戒し懺悔する」弱い女性像であった。

「船村徹とみそらひばり」に疑問を持った阿久悠は、もっと違う姿の女性像があってもいいのではないかとの思いに至った。

1969年に、生涯守り通した「阿久悠の作詞家憲法」をまとめた。（以下抜粋）

- ① ひばりによって完成したと思える流行歌の本道と、違う道はないものであろうか
- ② 日本人の情念、あるいは精神性は「怨」と「自虐」だけなのだろう
- ⑦ 文明・文化の発達、生活様式の近代化と「情緒」はどういう関わりを持つであろうか。
- ⑩ 「どうせ」と「しょせん」を排しても、歌は成立するのではないか。
- ⑫ 七・五調の他にも、音楽的快感を感じさせる言葉があるのではなからうか。

1970年「阿久悠」は森山佳代子の「白い蝶のサンバ」でメジャーデビュー。

オリコン1位。NHK紅白。

この歌には女性の「懺悔」など全く詩われてはいない。

1975年 「北の宿から」都 はるみ  
第18回レコード大賞、NHK紅白

「阿久自身が意図したのは失った恋に自らけじめをつけようとする性根の座ったしぶとい女だった。阿久は「僕は強い女を書いたつもりだったのに、怖い女あるいは悲しい女を描いたと受けとられた」と述懐している（ウイキペディア）」 ←淡谷のり子が痛烈に批判

以降、山口百恵の「プレイバック2」、沢田研二の「勝手にしゃがれ」、高橋まり（真梨子）のジョニーへの伝言、石川さゆりの「津軽海峡冬景色」等々を発表し、「強い女性・立ち直っていく女性・自立していく女性」像など美空ひばりと対局する詩など5,000曲以上を作詞した。

阿久 悠を支えた三つのことは

- ① 厳格な父親—お前の詩は品が良い
- ② 伴侶 —あなたは大丈夫
- ③ 小学校国語の先生—…？

（記 飯田光宏）

# 第13回総会等写真集



役員集合写真

写真提供 若村氏

講演会・総会司会

村山秀樹、松村彰子 by浅見氏

熱く語る 吉田悦志講師 by浅見

聴き入る会場のみなさん by浅見



開会のことば 高玉実行委員長  
by浅見



吉田副学長祝辞

by浅見



北野校友会副会長祝辞

by若村





高玉実行委員長開会のことば



田中節男議長 by若村



柳澤幹事長事業報告 by若村



伊藤財務幹事決算報告by若村



齋藤監査委員監査報告by若村



質疑応答 by若村



会場いっぱいの校友 by浅見



佐藤財務幹事予算説明by若村



岩崎氏顕彰される



義江代表幹事閉会のことば



# 懇親会



司会 内川氏/高玉氏 by浅見



開会のことば  
小野寺代表幹事 by浅見



来賓祝辞 坂井南部支部長 by浅



乾杯！—安田相談役 by浅見



会場全員で乾杯 by浅見



明治大学BSSO by浅見



万歳三唱 by若村



肩組み校歌斉唱 by若村



閉会のことば  
新井代表幹事 by浅見

# 集合写真

写真 浅見氏





小金井



村山



武蔵野



国立



青梅



三鷹



日野



あきる野



編集後書 第13回多摩支部総会も担当地域支部のご尽力と母校愛溢れる多くの校友のおかげで盛大裏に終宴いたしました。終わりよければ全て良し。この場で示された明治のパワーをこの日限りにせず、継続的に地域支部内で発揮して、更に校友の輪を広げ校友会の目的に沿った事業展開を期待したいものですね。\* \*記録担当 浅見様、若村様」ありがとうございました。 多摩支部広報委員